

公表	事業所における自己評価総括表	
----	----------------	--

○事業所名	こすもす園（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間		2025年 9月 6日	～ 2025年 10月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間		2025年 9月 8日	～ 2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 小学生から高校生までの幅広いこども達が利用しており、こども一人ひとりに合わせた支援を考えて、職員間で共に実践することでこども達が楽しんで、元気に活動できていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年によって下校時間が異なるため、こどもに合わせてプログラムを組んで、時間に合わせて充実した内容になるよう工夫している。 こども達が楽しんで活動に参加できるように、こどもの意見を取り入れたり、活動の中で係を決めたり、グループ活動で年上のこどもにはリーダーを任せたり、安全に配慮しながら環境づくりをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定の機会を増やしたり、自分ひとりでできたと言う達成感を持てるような活動へと充実させていく。 こども達が活動を企画して、取り組むことで責任感や自分たちもやってみたいという気持ちを育てるとともに、学年ごとの活動も同時に行い、それぞれの立場で必要なスキルを習得できるように取り組んでいきたい。

2	<ul style="list-style-type: none"> 施設周辺の環境や地域資源を活用し、子どもたちの感性や運動能力の向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に図書館や児童館へ行き、公共施設のマナーを身につけたり、沢山の物の中から好きな本や玩具・遊びを選ぶことで自己選択ができるようにしている。 施設の周りを散歩し、季節を感じたり、交通ルールを学んだり、園庭や畠での作業や活動を通して、身体能力の向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい地域資源を開拓し、活動の幅を広げていく。 今後、こすもす園で経験したことが、家庭でもできるよう取り組んでいく。（図書カードを作るなど） こども達が散歩の目的地や活動の目標を決めることで、主体的に活動できるようにし、やる気を引き出していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 学校と保護者様と三者で連携を取つて必要な情報は共有し、日々の支援に取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 北はりま支援学校は遠方のため、送迎に行っていなかったが、先生とお話する機会を作るため毎週金曜日は送迎に行っている。 日々の送迎、連携会議、オープンスクールなどで先生とお話するようにし、得た情報を保護者様とも共有している。 個別支援計画の共有や連絡帳の確認なども、許可をもらつて行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもが通うすべて学校と連携が取れていないので、今後は学校と連携が取れるように、信頼関係を築き努めていきたい。 必要に合わせて相談支援事業所と協力し、ケース会議を行うことで、家庭・学校・福祉の連携を密にしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練など定期的に取り組んでいる活動を保護者様へ周知できていないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様への報告で、こども達と活動したことがメインになっているため、こどもの避難訓練や安全管理など、安全に過ごせる場所の提供をするために行っていることへの周知が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 予約表に記載したり、連絡帳に活動の様子以外に避難訓練等を実施したことや健康面についても保護者様へお知らせするなど、正しく発信出来るよう尽力する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 送迎の関係で保護者様の利用したい曜日の希望に添えないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の下校時間が重なる為、地域小学校への送迎が難しい場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 定員の枠を守りながら、キャンセル待ちにより空き状況を直ぐに知らせ、利用希望を補っていく。 利用児童の学校や学年に合わせて、利用の曜日を設定する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 中高生の利用者が少ない為、グループを作りにくく、中高生グループでの、年齢に応じた活動を提供しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動になると小学生の割合が多い為、どうしても小学生にフォーカスを当てた活動になってしまって、中高生の活動については個別に支援者と利用児で計画を立てたり、将来に向けて年齢に応じた活動を支援者と一緒に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹園や地域の他園と連携を図り、年齢に応じた活動の幅を広げたり、計画性を持って中高生にあったプログラムを組み立てていく。